

コラム集「こどもと共に育つ」全4回（予定）

今号から「こどもと共に育つ」と題して、こどものひろばで活動し、現在、子どもに関わる仕事に就いておられる方にそれぞれコラムを書いてもらいました。コロナ禍でなかなか思うように活動ができず、会員、ボランティアが出会い、交流できる機会もなくなりました。そのため、コッペパンでのコラムというカタチではありますが、少しでもこどものひろばに関わっている方のことを知ってもらえる機会となればと思い、コラムをお願いしました。小学校教諭、幼稚園教諭、スクールソーシャルワーカー、保育士、カウンセラーという様々な立場の5名の方に、日常の出来事や子どもたちを取り巻く環境などそれぞれの目線でコラムを書いてもらっています。こんなことについて書いて欲しい、コラムを読んで感想なども募集しております。



私はこどものひろばを退職後、現在小学校の先生をしている津田です。職業を言うと周りの人からはよく「先生って大変やろ〜？」と言われるのですが、正直にいうと…

めちゃくちゃ大変です！！毎日がドタバタです！

そんな日々のドタバタ劇や、先生として感じることなどを綴っていただけたらと思います。

「こんな話が聞きたい」などあれば、教えてください。

今回は「年度はじめの準備」について。

まず4月当初、約50項目に及ぶ職員会議が行われます。そして、校務分掌（学校運営のための業務）ごとに分かれて会議をし、合間にドリルなどの教材の選定・発注、時間割、当番表作成など学級の準備。また、前学校とは異なる授業の開始時間、会計等の事務処理の方法を覚えることもたくさん。

「学校（間）で統一してくれたら」「授業の準備いつするの」…など思いながらも、毎日積み上がるやるべきことをこなす日々。覚悟してたとはいえ、会議や先生のやることの多さに四苦八苦しています。

まだ、子どもに出会う前。これからどうなることやら・・・つづく(?)



お久しぶりです！今回コッペパンのコラムを書かせて頂きます【元 Jr.キャンプのちっち】と申します。どんな事を書こうか悩みながらではありますが、色んな事を書いていただけたらなと思いますのでどうぞよろしくお願い致します！

私は小さい頃の夢でもあった“幼稚園の先生”として働き出して、今年で7年目（年少→年少→年中→年少→年中→年少→年中）になりました♪7年も同じ職場で働いているのに年長さんを持ったことはありません！なんでだろう…！？そして、7年も続くなんで自分自身ビックリです（笑）

今回はなぜ、幼稚園の先生を目指そうかと思ったのかという事を書いていこうかなと思います。ありきたりな理由ですが目指すきっかけになったのは、自分が通っていた幼稚園の先生のことごとくとっても好きだったからという理由です。笑顔が素敵で、とっても優しくて…よく、私はその先生のお膝に座ってお喋りしたり、ぎゅーっとして甘えていたりしていたのを今でも覚えています！（笑） そんな、笑顔が素敵で優しい先生になりたい！！と思ったのがきっかけでした(^_^)



次回は日々の子ども達の様子を書いていただけたらなと思っています★



みなさん、はじめまして！今回コラムを担当させて頂くことになりました、元楽習サポートのびのび担当者Tです！

さて、普段からSNSなどでも外に発信していくことが苦手な自分が何をコラムに乗せて発信していくのか…今回は簡単な自己紹介も含めてそんなお話をしていこうかと思っています。

まずはじめに、私を紹介する上で避けて通れないのが「不登校」というワードです。高校、大学となかなか学校に行けない時期を過ごしたのですが、そんな時期を過ごしたからこそ今の自分があるとも思っています。もちろん苦しい、苦い経験であることも事実であり、「普通に学校に行けていれば違う道もあったかもしれない」と思ったことは数知れずです。ただ、この経験があったからこそ、こどものひろばを含め多くの人やつながりと出会え、いまの自分があるとポジティブな面も捉えられるようになりました。ただ、それも紆余曲折、落ちたり上がったりした中で思うようになった話です。



そんな紆余曲折や自分の最近考えることなどをつらつらとメモするコラムになるかと思います。また次回、何を書くかわかりませんが楽しみしててください！



静岡県にある「ぼんぼん保育園」という保育園を運営する会社で働いている谷崎といいます。なぜそんな人間がこのコッペパンに？とお思いでしょう…

私が学生時代、4年間、週7日で「こどものひろば」の活動をしていたことがきっかけです。今回は第1回目ということ、10年数年ぶりに「こどものひろば」へ登場ということで、まずは自己紹介から…

地元は静岡県、仕事は主に保育士、1歳の息子がいる1児の父

「こどものひろば」との関係の始まりは、京都の某大学への入学
こどものひろばの荒波にもまれながら、ついでに大学へ通い、保育士資格を取得、卒業を果たす
(保育技術は人形劇団ムクムクのボスに鍛えられる)

卒業後は静岡県内の保育園に就職

その後、IT企業を経由し、現在の「ぼんぼん保育園」に出逢う

ぼんぼん保育園は静岡県内に4つ(認可保育所1つ・小規模保育園3つ)

そのうちの小規模保育園で、園長を経験

現在は、系列園の施設運営支援として園のバックアップに奮闘中
家では1歳の子育てに奮闘中



今期のコッペパンでは、園長と父親という立場から感じた保育園のあり方について触れられたらいいかなと思っています。どうぞ流し読みでお願いいたします



こんにちは。ぴーちゃんです。

ひろばでは、のびのびや Jr キャンプの活動にボランティアとして参加していました。今年の3月に心理系の大学院を修了し、現在は心理士資格の勉強をしつつ、大学の相談室や放課後デイなどの現場で、実際に心理支援を行っています。



新年度が始まってすぐ、私が携わっている現場では、新生活に慣れないという話を子ども達からよく聞きました。私も新生活がスタートしましたが、な、慣れない……。

現場にいと、子どもも適応するのに一定の時間はかかること、その中でも変化に敏感な子は特に大変だということがとても伝わってきます。

そんな時、“変わらない場所”の存在は心理的にとても大事な存在になると思います。実際に「クラス変わってしんどいけど、ここはあんま変わらんから良いわぁ」と、とある子どもから聞きました。

私も先日、久々にひろばに行ったのですが、いい意味での“変わらなさ”に安心感を感じました。皆さんには安心できるような“変わらない場所”ありますか？(ひろばですね？(笑))

